

平成 25 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 山本 尚子

最終学歴	奈良女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程 比較文化学専攻 単位取得退学	
取得学位	博士(文学)	
所属学会	日本英語学会、日本語用論学会、日本言語学会、関西言語学会、International Pragmatics Association	
専門分野	英語学、言語学(特に、語用論)	
研究課題	トートロジー発話解釈プロセスに関する認知語用論的研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・英語 I ・英語 II ・TOEIC I ・表現技法 I ・ ・
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
【研究上の特記事項】		
【教育上の特記事項】		
【社会的活動】		
【学内活動】 (学内職歴を含む)	図書館委員、学生支援委員、学生相談員、海外語学研修委員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) ① <i>A Cognitive Pragmatic Analysis of Nominal Tautologies</i> ② ③ ④ ⑤	単	2014年2月	ひつじ書房	本書は、認知語用論の視点から、日本語の名詞句トートロジー発話の解釈メカニズムについて分析を行い、名詞句トートロジーが手続き的情報をコード化している表現形式であることを提案する。
(学術論文) ①「日本語名詞句トートロジー「AもAだ」の認知語用論的研究」 ②「日本語名詞句トートロジー再考:「AはAだ」」 ③ ④ ⑤	単 単	2013年9月 2013年11月	『語用論研究』14, 20-36, 日本語用論学会. 『日本語用論学会第15回大会発表論文集』8, 143-150, 日本語用論学会.	本論は、関連性理論の概念を用い、日本語名詞句トートロジー「AもAだ」が持つ意味を規定する。 本論は、先行研究の問題点を指摘し、日本語名詞句トートロジー「AはAだ」にコード化された意味を明らかにする。
(学会発表) ①“Two Forms of Nominal Tautology in Japanese: <i>A wa A da</i> and <i>A mo A da</i> ” ② ③ ④ ⑤	単	2013年9月	the 13th International Pragmatics Conference, India Habitat Centre, New Delhi, India.	本発表は、日本語名詞句トートロジー「AはAだ」と「AもAだ」がそれぞれ独自の手続き的情報をコード化していることを主張し、英語を含む自然言語における名詞句トートロジーを手続き的情報がコード化されているものと扱うことの妥当性を示唆する。
(その他) ① ② ③ ④ ⑤				